

# 事業継続(BCP)計画作成のポイント

①自社の主力事業を特定する  
災害や緊急時に自社の経営資源となる人や製品(商品)、施設、情報などが限られているということをあらかじめ認識し、会社を存続していくために最優先に取り組まなければならぬ主力事業(商品)を決めておきましょう。

②復旧時間・復旧レベルの目標を設定する  
主力事業(商品)の復旧において、どの程度の時間が必要かを定

③取引先と協議しておく  
緊急時にどこまでのサービスが提供可能かを取引先と話し合い、共通認識を持つことが大事です。また、緊急時の連絡方法なども取り決めておくことも必要です。

④事前対策や代替策を用意しておく  
主力事業(商品)の継続においてはならない経営資源を検討しておほか、代替案も用意しておきま

⑤共通認識を高める  
災害や緊急時に経営者がどのような行動すれば良いのか、従業員はどのように動いたらいいのか等を事前に決めておき、日頃から訓練しましょう。

## 3. 企業防災と事業継続

東日本大震災(平成23年3月)では、中小企業の多くが、自社の設備を損失、貴重な人材までも失うなどして、廃業に追い込まれた企業も多くありました。また、影響が少なかつた企業でも、復旧の遅れで製品・サービスの供給ができず、その結果、大幅な売上の減少、顧客離れなどにより、事業規模を縮小、従業員を解雇しなければならないといったケースが見受けられました。

このように災害や緊急事態は、いつ発生するかわかりません。企



態への備えのことを言います。ただし、突発的な事態は、防災計画の想定どおりに発生するはずありません。また、計画を策定していく中で、普段行っていないことを緊時に使うことは、実際には難しいものです。緊急事態において的確に決断を下すには、あらかじめ対処の方策について検討を重ね、日頃から継続的に訓練していくだけ少なくするよう調整しましょう。

例えば、平常時から同じ商品や製品を複数の地域に異なる企業へ発注するなど、災害時のリスクをましょ。企業防災計画等を策定する際は、はじめから理想を追求して完全なものを目指しても、実現が困難な場合も多く、かえって導入を躊躇することにもなりかねません。そのため、まずは自社で実現可能な計画を策定し、改善を積み重ね、平常時から突然発生する緊急事態への対応力を鍛えていくことが重要です。

## あなたの会社の現在の事業継続能力状況をチェック

あなたの会社の現在の事業継続能力を診断してみましょう。

以下の質問の「はい」に該当する場合、□に✓を入れて個数を数えてください。

①緊急事態発生時に、支援が到着するまでの従業員の安全や健康を確保するための災害対応計画を作成していますか？	<input type="checkbox"/>
②災害が勤務時間中に起こった場合、勤務時間外に起こった場合、あなたの会社は従業員と連絡を取り合うことができますか？	<input type="checkbox"/>
③緊急時に必要な従業員が会社で出社できない場合に、代行できる従業員を育成していますか？	<input type="checkbox"/>
④定期的に避難訓練や初期救急、心肺蘇生法の訓練を実施していますか？	<input type="checkbox"/>
⑤あなたの会社のビルや工場は地震や風水害に耐えることができますか？そして、ビル内や工場内にある設備は地震や風水害から保護されますか？	<input type="checkbox"/>
⑥あなたの会社周辺の地震や風水害の被害に関する危険性を把握していますか？	<input type="checkbox"/>
⑦あなたの会社の設備の流动を管理し目録を更新していますか？	<input type="checkbox"/>
⑧あなたの会社の工場が操業できなくなる、仕入先からの原材料の納品がストップする等の場合に備えて、代替で生産や調達する手段を準備していますか？	<input type="checkbox"/>
⑨1週間又は1ヶ月程度、事業を中断した際の損失を把握していますか？	<input type="checkbox"/>
⑩あなたは、災害後に事業を再開させる上で現在の保険の損害補償範囲が適切であるかどうかを保険の専門家と相談しましたか？	<input type="checkbox"/>
⑪事前の災害対策や被災時の復旧を目的とした融資制度を把握していますか？	<input type="checkbox"/>
⑫1ヶ月分程度の事業運転資金に相当する額のキャッシュフローを確保していますか？	<input type="checkbox"/>
⑬情報のコピーまたはバックアップをとっていますか？	<input type="checkbox"/>
⑭あなたの会社のオフィス以外の場所に情報のコピーまたはバックアップを保管していますか？	<input type="checkbox"/>
⑮主要顧客や各種公共機関の連絡先リストを作成する等、緊急時に情報を発信・収集する手段を準備していますか？	<input type="checkbox"/>
⑯操業に不可欠なIT機器システムが故障等で使用できない場合の代替方法がありますか？	<input type="checkbox"/>
⑰あなたの会社が自然災害や人的災害に遭遇した場合、会社の事業活動がどうなりそうかを考えたことがありますか？	<input type="checkbox"/>
⑱緊急事態に遭遇した場合、あなたの会社のどの事業を優先的に継続・復旧すべきなのか、そのためには何をすべきか考え、実際に何らかの対策を打っていますか？	<input type="checkbox"/>
⑲社長が出張中だったり、負傷したりした場合、代わりの者が指揮をとる体制が整っていますか？	<input type="checkbox"/>
⑳取引先及び同業者等と災害発生時の相互支援について取り決めていますか？	<input type="checkbox"/>

### 【✓の数による診断結果】

#### 3個以下

今、緊急事態に遭遇したら、あなたの会社の事業は長期間停止し、廃業に追い込まれる恐れが大です。一からBCPの策定・運用に取り組んで下さい。

#### 15個以下

緊急時に備える意識は高いですが、まだ改善すべき点が多いと言えます。実践的なBCPを策定し、平常時から運用を進めることが必要です。

#### 16個以上

あなたの会社では、BCPの考え方を則った取り組みが進んでいるようです。会社のBCPをチェックし、より強力なものとすることが望まれます。

<参考> 見てみよう！【わかりやすいBCP計画】 中小企業庁「中小企業BCP策定運用指針」 <https://www.chusho.meti.go.jp/bcp/>  
 小樽市の防災 <https://www.city.otaru.lg.jp/simin/anzen/bosai/>

## 【計画策定の業種別ポイント】

### 製造業

中核事業(または主力製品)のすべての工程が、どんな場合でも機能する体制を構築することが必須となり、従業員が複数の工程に対応できる技術を持つことが重要です。

### 卸・小売業

商品を守ることが重要です。施設は仮店舗でも営業できますので、必要な商品を確保するために、商品の安全な保管方法の見直しや、商品仕入れルートの複数化などの見直しが重要です。

### サービス業

他の業種以上に接客が重視されることから、緊急時の対応方法を策定し、必要なときに必要なサービスを提供できる体制づくりが重要です。

### 飲食業

厨房では、電気やガス、水道等が機能しなくても、一定の調理ができる体制を整えること、また、フロアでは、緊急時に顧客を適切に誘導できる体制づくりが重要です。